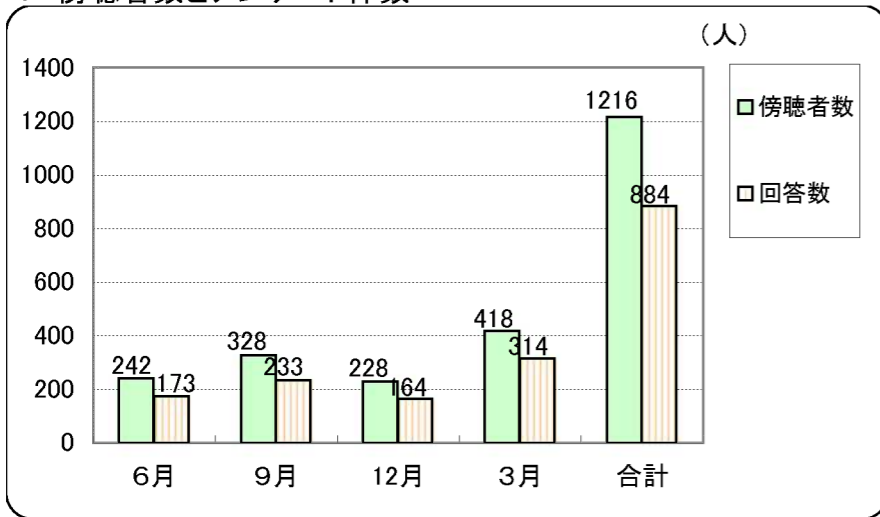


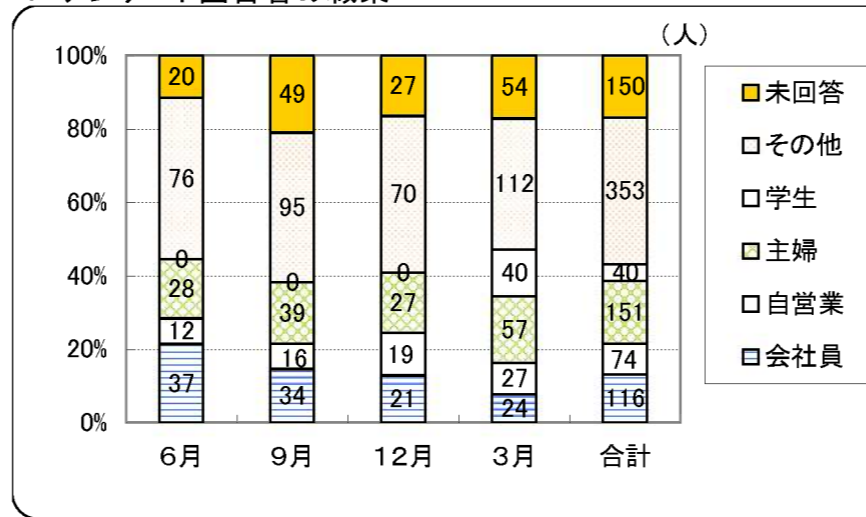
【平成21年6月から平成22年3月までの定例会に関する傍聴アンケートの結果について】

1 傍聴者数とアンケート件数



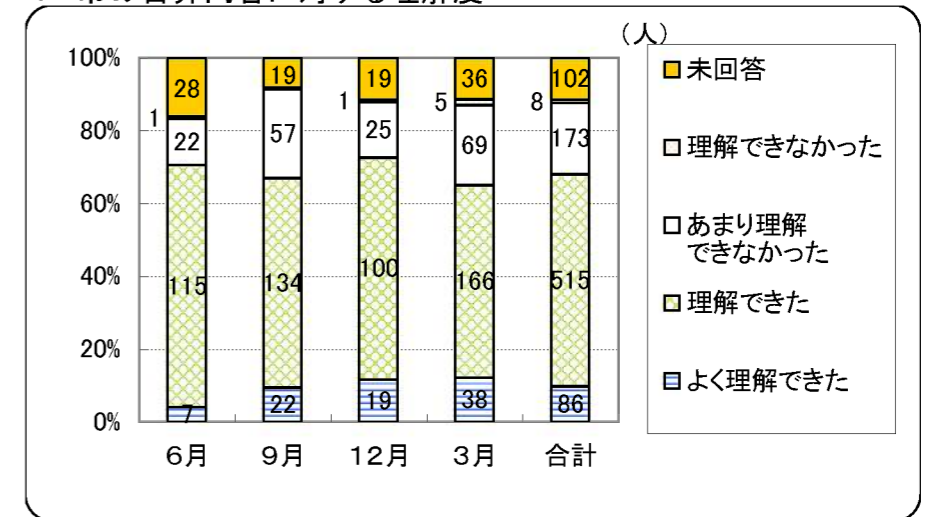
※アンケート平均回収率→約73%

4 アンケート回答者の職業



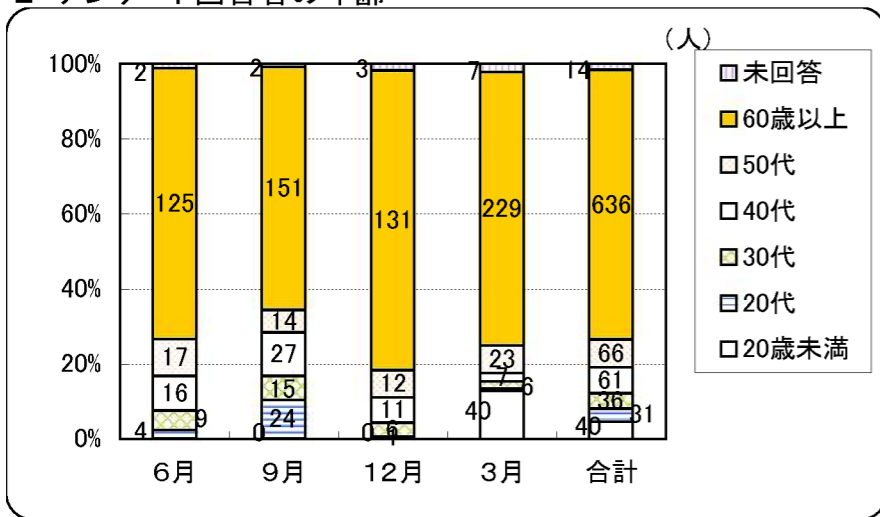
※「その他」の内容→農業、区長、無職など

7 市の答弁内容に対する理解度



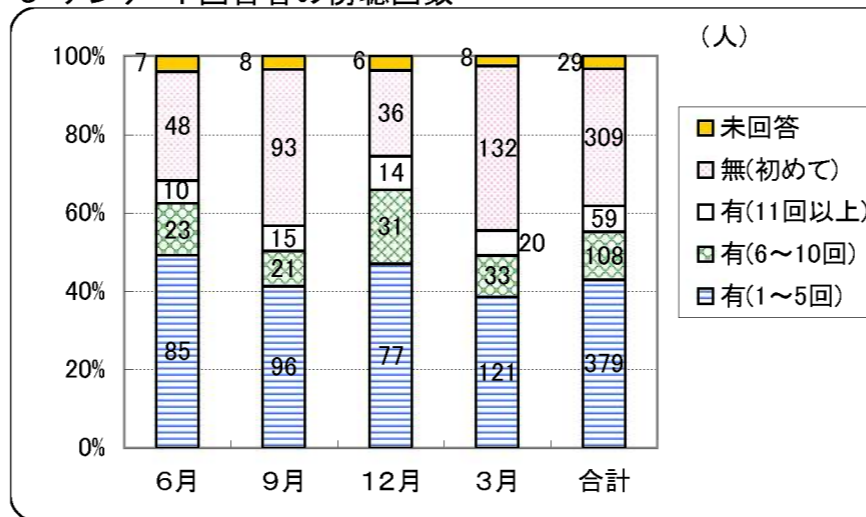
※理解が得られた割合→約68%

2 アンケート回答者の年齢



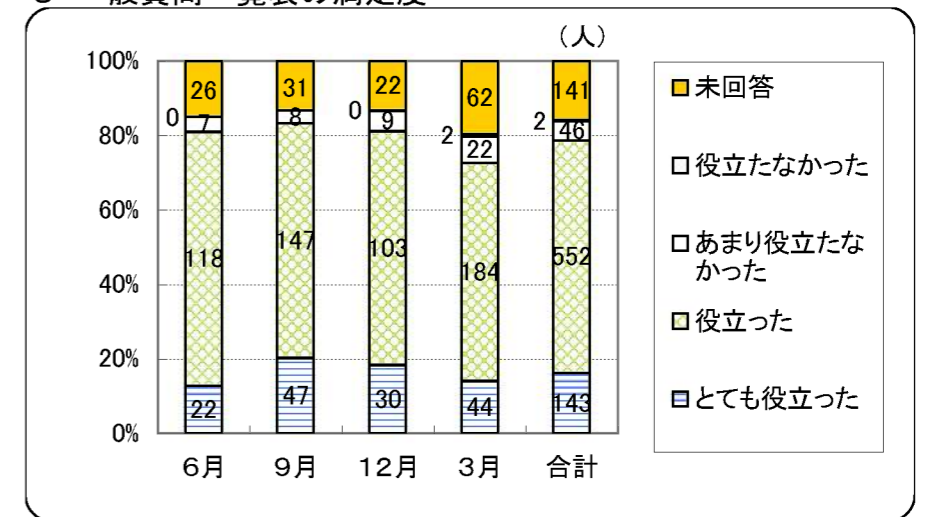
※回答者の約72%が60歳以上

5 アンケート回答者の傍聴回数



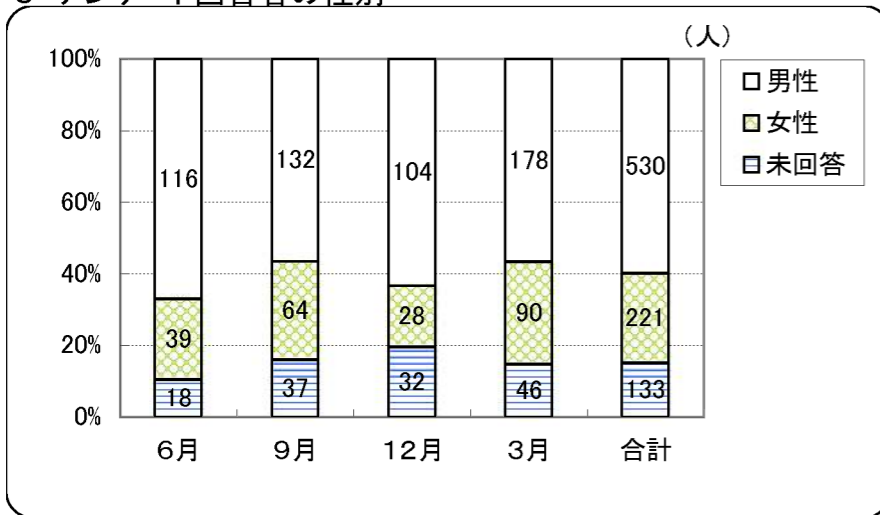
※傍聴回数2回目以上の割合→約62%

8 一般質問一覧表の満足度



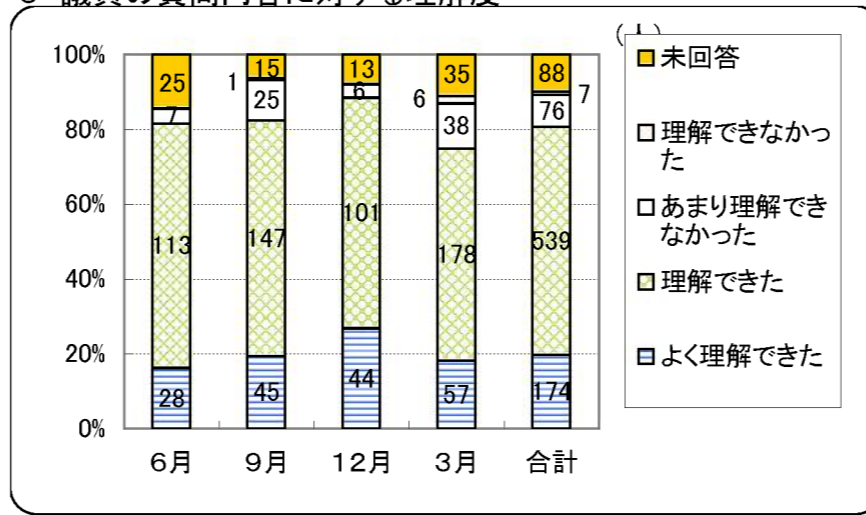
※役に立ったと回答した割合→約76%

3 アンケート回答者の性別



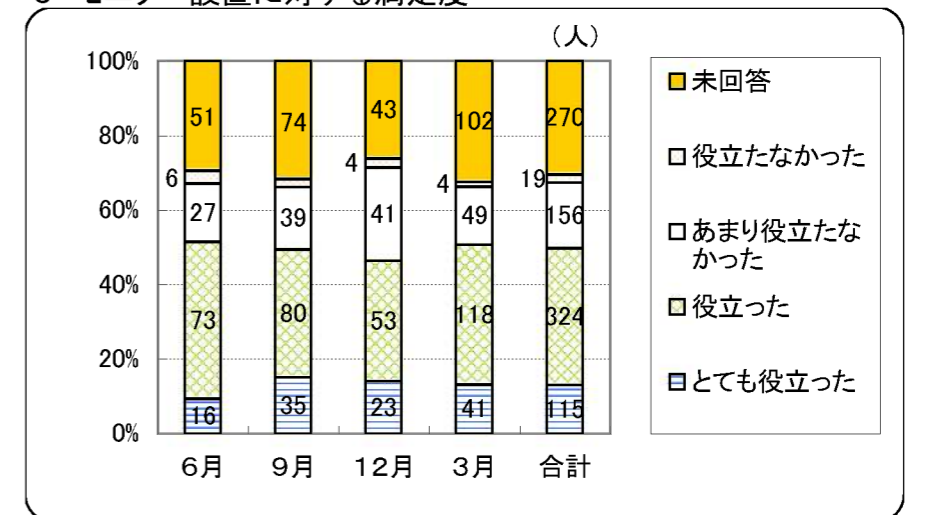
※男性割合→約70% 女性割合→約30%(未回答除く)

6 議員の質問内容に対する理解度



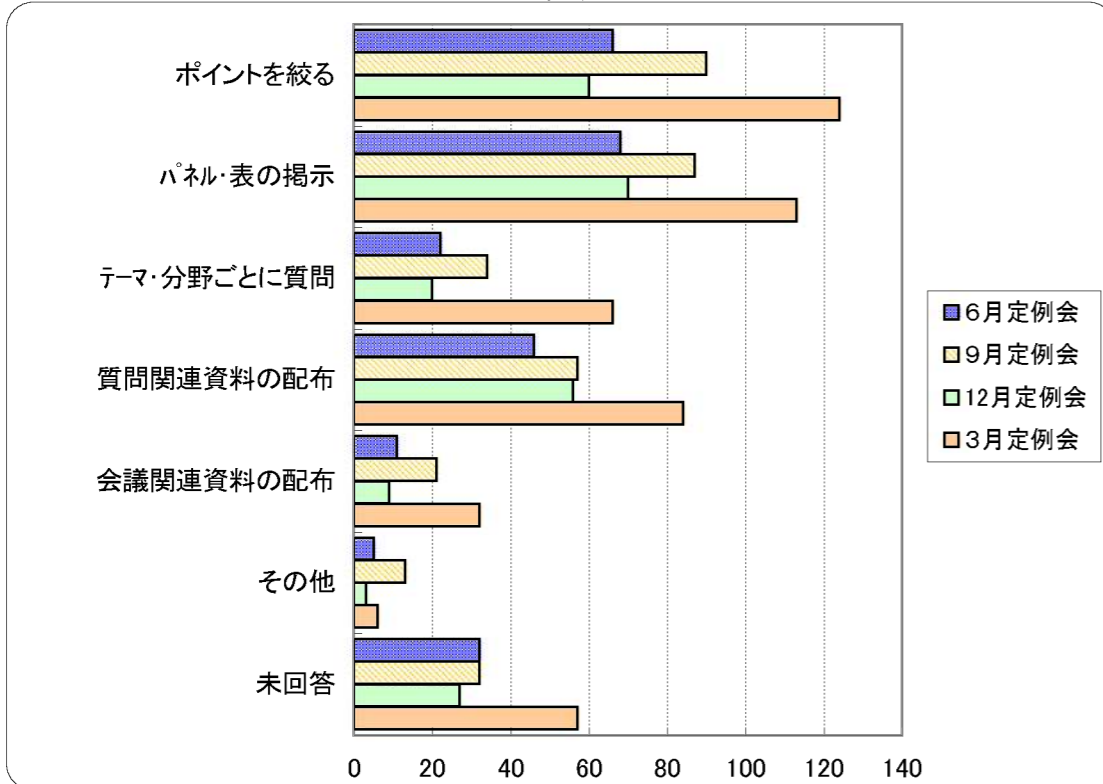
※理解が得られた割合→約81%

9 モニター設置に対する満足度



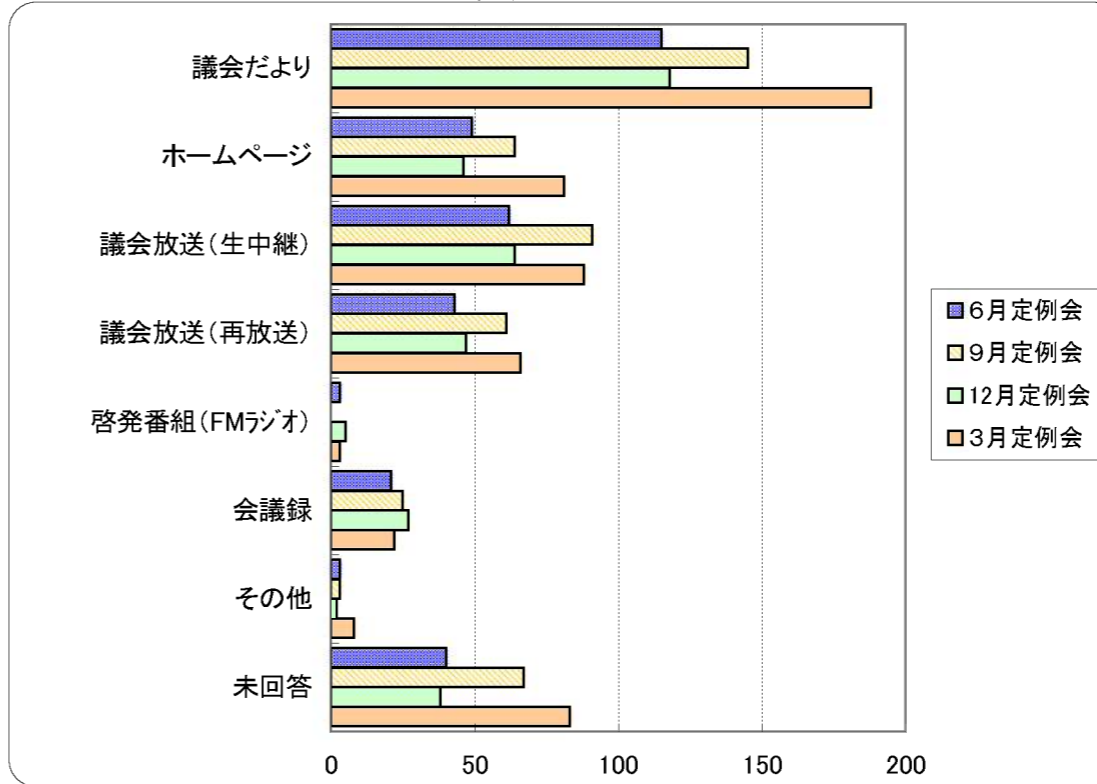
※役に立ったと回答した割合→約49%

10 会議を分かりやすくするためには(複数回答)



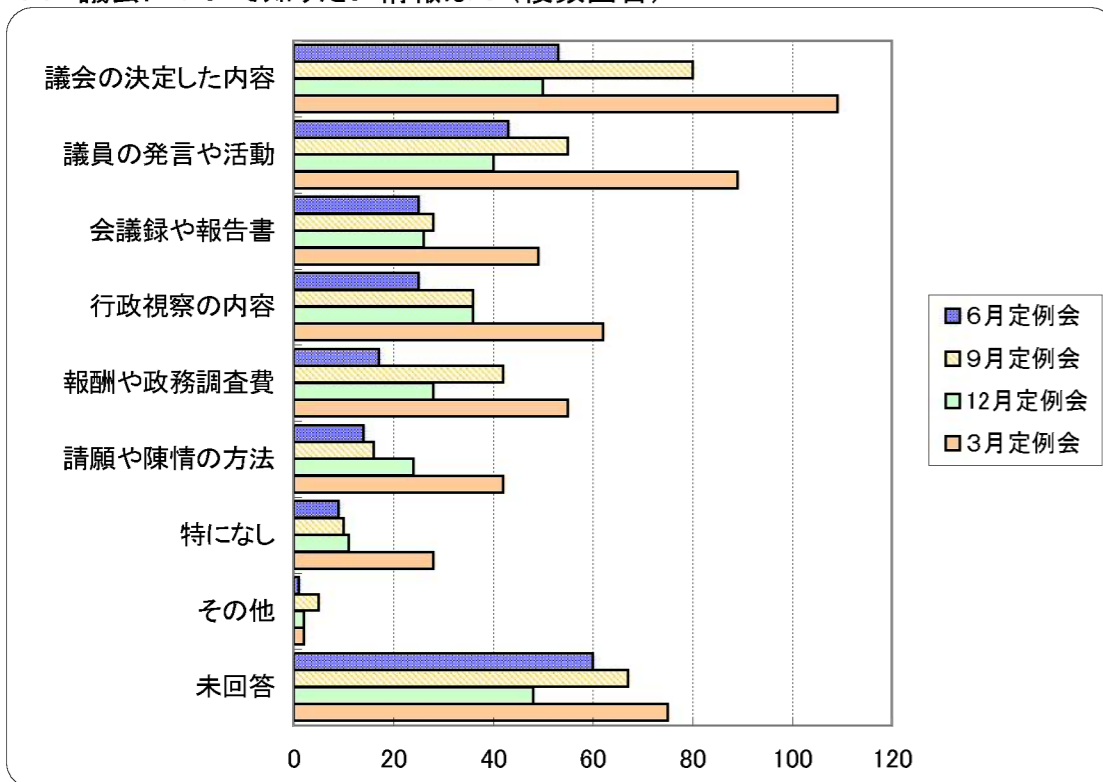
※回答多数順⇒①ポイントを絞る ②パネル・表の掲示 ③質問関連資料の配布

12 こんなことご存知でしたか?(複数回答)



※回答多数順⇒①議会だより ②議会放送 ③ホームページ

11 議会について知りたい情報は?(複数回答)



※回答多数順⇒①議会で決定した内容 ②議員の発言や行動 ③行政視察の内容

その他自由記入欄の内容について(概要)

【質問の内容に対する意見】

- ・何に問題意識を持っているか(具体性が乏しい)。なぜ、多くの問題の中からこの質問をするのかその背景をわかるようにしてほしい。
- ・質問内容を充実して欲しい。何をどうするのかはっきりした質問をするように。
- ・質問が多岐にわたっており、理解しづらい。重点的に的を絞ったほうが有益と思われる。

【質問及び答弁方法に対する意見】

- ・できるだけ平易な言葉(専門用語は説明が必要)で、大きな声で、ゆっくり話をしてほしい。
- ・答弁は具体例を挙げながら、わかり易く(要点をつかんで、具体的なスケジュール、数値など)実態を表現すべき。
- ・原稿を読み上げるだけでなく(迫力のある質疑になっていない、緊張感がない)、自分の言葉で語ったほうが良い。
- ・わかりにくい答弁に対しては、しっかり再質問するべきでは。

【質問及び答弁の工夫・改善に対する意見】

- ・ひまわりネットワークにおいて専門用語の解説をテロップで流して欲しい。
- ・質問者以外の議員もテーマによっては質問してよいのでは。質疑応答の機会も多くなり他の議員のためにも良い。
- ・パネルやプロジェクター・パワーポイントなどビジュアルな機器を有効活用すべき。
- ・事前に一般質問の内容をわかり易く市民に知らせる工夫(交流館など)をして欲しい。
- ・質問、答弁の内容を簡潔にまとめた資料が会議後、公開されたい。
- ・議員の発言時間を会派別に定めるのではなく、十分な討論が出来るように検討してほしい。

【その他の意見】

- ・委員会傍聴についても、もっと情報が欲しい。
- ・開催時間が毎回平日の日中なので、ナイター議会や休日議会をやってみてはどうか。
- ・議会活性化のためには、市民が議会に関心を持ってもらうためのPRが大切。